

**長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式**

① 研究課題名	腹腔鏡下大腸癌手術時小開腹創の腹壁癒痕ヘルニア発生と縫合糸の検討
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2022年から2023年までの小開腹創を伴う腹腔鏡下大腸癌手術症例。
③ 概要	経過観察のために行われたCT検査で腹壁癒痕ヘルニア発生有無を確認し、縫合糸の違いにより発生率に差があるか後方視的に検討する。
④申請番号	第 721 号
④ 研究の目的・意義	目的は腹腔鏡下大腸癌手術での小開腹創閉創後の腹壁癒痕ヘルニア発生が抗菌性針付き合成吸収性縫合糸による結節縫合から抗菌性針付きモノフィラメント吸収性有棘縫合糸による連続縫合へ変更したことにより減少したかどうかを確認することである。
⑤ 研究期間	承認日～2026年9月5日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテ記載内容の後方視的確認
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、併存疾患、身長、体重、手術記録、周術期合併症、術後経過観察目的で撮影されたCT所見
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院 外科 研究責任者 川原聖佳子  長岡中央総合病院 臨床研修医 平塚侑
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 外科 部長 川原聖佳子
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 外科 部長 川原聖佳子 電話 0258-35-3700（代表） FAX 0258-33-9596